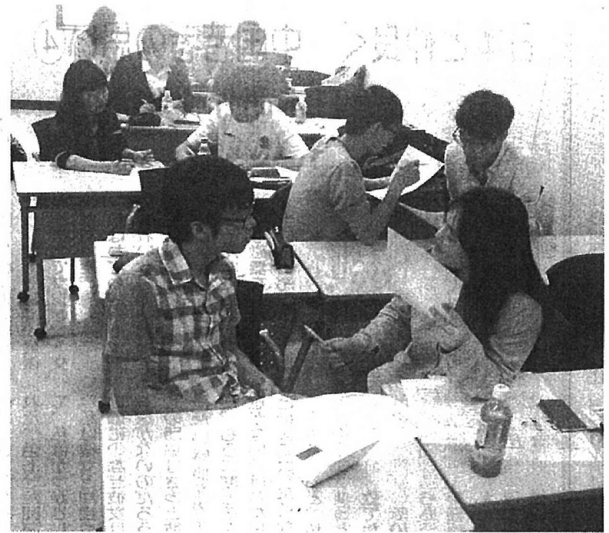


私と日本



立命館大学文学部教授
佐々木 隆夫 氏

「私は、戦後、日本に渡り、立命館大学で教職に就きました。この40年、日本と中国の文化交流に尽力してきました。特に、中国語の学習と教授に力を入れています。中国語は、単なる言語の学習ではなく、文化の理解を通じて、人々の心を繋ぐためのツールです。立命館大学では、中国語を学ぶだけでなく、中国の文化や歴史についても学び、実践的な能力を身につけてほしいと考えています。」



日本語でディスカッション

強い信頼 深い友情育む 日中韓学生が共同学習と生活

「キャンパスアジア」プログラム

立命館大学では

現在、「キャンパスアジア」プログラムが実施されているのを、ご存知だろうか。日本・中国・韓国の間にはさまざまな矛盾が存在しているが、3国の学生が共同学習・共同生活を進めていく中で、未来志向で問題を解決できる人材を育成していく試みだ。立命館大学文学部の取り組みを紹介しよう。

28人が京都の日本家庭で
「ゴールデンウィーク」が終わると、京都は一年で最も過ごしやすい季節を迎える。その市内の一角にある日本家庭で、中国と韓国、そして日本の大学生たちが共同生活を始めた。彼らは、立命館大学文学部、中国広州市にある広東外語大学、韓国釜山にある東西大学からやってきた「キャンパスアジア」プログラムの学生たち28人。

「キャンパスアジア」プログラムとは、文部科学省が推進する「平成23年度大学の世界展開力強化事業」の一環として、立命館大学文学部が、



今日はみんなで食事を作る日

10校のそれぞれのプログラムは、内容や育成する人材目標が異なり、立命館大学では「東アジアの次世代リーダーの育成」を掲げている。その特徴は主に3つある。

まず、学部生が対象で、普通の大学生が4年間でプログラムを修了し、卒業ができること。

2つめは、3カ国の学生が一緒に3カ国の大学キャンパスをめぐり、移動キャンパス。

学生たちは1年間に3つの大学を10週間ずつめぐり、それを2年間行なう。まさに同じ教室で学び、同じ宿舎で

次世代リーダーの育成へ

春に葉を広げると同時に、枝から短い柄を下向きに伸ばし、花を咲かせる。花弁は白く、白い大きな葉の裏に花をくむように。その姿から和名がついた。中国名で一般的なのは「蘭子花」。

「蘭子花」で、白い葉をハートに形立てて呼ぶ。四川省・雲南省の海拔1800〜2000mの山林が故郷。少数民族のリス族は、秋この果を取り、家に祀る神様に供え、自らも食す。1983年、アメリカ・カリフォルニア州で日本渡来。

中国と韓国の上記面談と連携して運営を行なっている。

2月に広東でスタート

立命館大学では2012年度から本格始動し、中国語や朝鮮語の特訓を経て、昨年度の1・2回生からメンバー8人が選ばれた。そして本年2月17日に広東外大で「移動キャンパス」の開校式があり、1学期がスタートした。

広東外大では東洋言語学部長の陳多友教授がプログラム責任者となり、日本語と朝鮮語を主として、国際部や留学生センターがサポートする。中国語の授業のほか、中国文化体験、中国語文化研究などの演習授業があり、在

3カ国語が入り乱れて

5月7日からは立命館大学の2学期が始まり、宿舎が市内にあるため、ふだんの生活や大学への往復すら学びの場となっている。コミミの分別方法、由緒ある地名、バスの乗り方、街の人の声などは、中国、韓国の学生には自国とは違う。教科書やテレビ、インターネットも伝えない異文化である。

宿舎の中でも日々新鮮な出来事があり、大

休刊のお知らせ

6月15日は休刊とさせていただきます。次号は6月25日号(第62回大会特集号)をお届けします。(編集部)

日中友好新聞

発行所
日本中国友好協会
〒101-0065東京都千代田区西
神田2-4-1 東方学会ビル3階
電話 03(3234)4700(代)
FAX 03(3234)4703
http://www.jcfa-net.gr.jp
E-mail: jicfu@jcfa-net.gr.jp
振替 00110-1-21176
定価(税込み)1部140円
購読料は会費(1ヶ月500円)、
年会費(1ヶ月400円)に含ま
れます(送料120円)

中国の花 ③



ハンカチノキ

春に葉を広げると同時に、枝から短い柄を下向きに伸ばし、花を咲かせる。花弁は白く、白い大きな葉の裏に花をくむように。その姿から和名がついた。中国名で一般的なのは「蘭子花」。

「蘭子花」で、白い葉をハートに形立てて呼ぶ。四川省・雲南省の海拔1800〜2000mの山林が故郷。少数民族のリス族は、秋この果を取り、家に祀る神様に供え、自らも食す。1983年、アメリカ・カリフォルニア州で日本渡来。

中国と韓国の上記面談と連携して運営を行なっている。

季刊中国

中国の発展と未来を展望する。最新のニュース、分析、インタビューを掲載。中国の未来を共に考える。

中国の発展と未来を展望する。最新のニュース、分析、インタビューを掲載。中国の未来を共に考える。